

# 山行実施報告書

令和元年 5月12日  
リーダー：豊岡一夫

行き先	恵那山 (2,191m)	所在地：長野県・岐阜県
参加者	杉山修二、安間香録、八木恭一、豊岡一夫	合計 4名
期日	令和元年 5月10日(金) ~ 11日(土)	
歩行時間	歩行時間 8 : 32 (所要時間 10 : 04)、歩行距離 (11.5 km)、累積標高 1220m/1220m	
コース	1日目：5月10日(金) … 移動日 ちはら台 === 新津田沼駅 === 谷津船橋 IC ===== 中津川 IC === 萬岳荘(泊) 8:00            8:40/8:45            9:00            (休憩・食事) 13:44            15:03	
	2日目：5月11日(土) 萬岳荘 ===== 追分登山口 —— 鳥越峠 —— 大判山 —— 天狗ナギ —— 4:00            4:10/4:23            5:00/5:05            5:55/6:00            6:50(?) 一ノ宮 —— 恵那山山頂小屋 —— 恵那山山頂 —— 恵那山山頂小屋 —— 8:32/8:37    9:20/9:30            9:39/9:52            10:02/10:33(昼食) (アイゼン着) —— 一ノ宮 —— 天狗ナギ —— 大判山 —— 鳥越峠 —— 追分登山口 11:13            12:23(?) (脱アイゼン) 13:10/13:18    13:58/14:06    14:27/14:40 === 中津川温泉 === 中津川 IC === 谷津船橋 IC === 新津田沼駅=== ちはら台 15:05/16:05 (給油) 16:27            20:30            20:40 (給油) 21:40	
費用	交通費 宿泊費 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>萬岳荘 宿泊費 3,200円/人(内、燃料費 200円)、食材費 4,489円(1,122円/人)</li> <li>高速料金 15,890円(8,310円(往) + 7,080円(復)) = 15,890円(3,973円/人)</li> <li>ガソリン代 8,239円(2,060円/人 ※ 56.71ℓ 788.7km、)</li> <li>入浴代 800円/人            合計 11,155円/人 (高速道SAでの食事は各自払い)</li> </ul>
その他	<p>①当初、天候が危ぶまれたが出発直前に好転し、2日間とも晴天に恵まれた。行き帰りとも、中央道からは八ヶ岳、中央アルプス、南アルプス、遠くには北アルプスを眺めながらの、山の愛好家にとってはこの上なく嬉しいドライブとなった。</p> <p>②事前の恵那山に関する情報で、登る人の少ない「地味な山」という印象を抱いていたが、麓から見える恵那山の丸く穏やかで、どっしりと構えた山容は、大きな存在感と包容力を感じさせられた。古来、地元の人々から崇められ、生活に深く関わってきた山であることが容易に推測できた。安易な先入観はすぐに吹き飛んでしまった。</p> <p>③山行当日も晴れ、南アルプスや中央アルプス、御嶽山、乗鞍岳を遠くに眺めながらの尾根歩きや、登山道に咲くバイカオーレン、ショウジョウバカマの花が気持ちを和ませてくれた。だが、この山行で一番気掛かりなのは雪であった。天狗ナギを過ぎると徐々に雪が現れ始め、稜線の一ノ宮への急登は60~70cmの雪であった。残雪が壁のように立ちのぼる急勾配を、何度となく股まで踏み抜きながらの一步一步はかなりの体力を消耗した。雪中山行の困難さを嫌というほど思い知らされた。しかし、得難い体験であった。</p> <p>④その一方で、萬岳荘での手造りの牛すきとビールの夕食、管理人さんが展望台まで案内してくれた夕陽鑑賞、夜中にデッキから眺めた「日本一の星空」など、幾つもの感動シーンがこの山行を一層印象深くしてくれた。</p> <p>以上、令和元年の初百名山「恵那山」は、厳しくも楽しい、内容の濃い山行となった。</p>	
一口アドバイス	<p>①管理人さんから、雪のため、コースタイムは1~2時間オーバーするので、登山口を神坂峠から追分峠に変更してはどのアドバイスを受け、コースを変更した。これにより約40分のリカバリーができた。雪の情報には一層の注意が必要であり、事前に残雪情報を現地の関係者にしっかりと確認することの重要性を再認識した。</p> <p>②萬岳荘は自炊制であったが、燃料や清潔な調理器具、食器類が完備しており、水やお湯もたっぷり使えた。食材を中津川のスーパーで仕入れての手造りの夕食は、山小屋の食事よりもはるかに安くて美味しく、楽しい晩餐となった。マイカー利用ならではの利点を有効に発揮することができた。</p> <p>③山頂では、短時間で楽に登れる広河原登山口からの登山者が多かった。</p> <p>④帰りの中央道は土曜にもかかわらず渋滞はなかった。10連休GW直後の新現象か？</p>	
情報入手先	<p>全てネットと萬岳荘の管理人から入手 (山小屋、山と高原地図、ヤマレコ etc) 萬岳荘 ☎ : 070-2667-6618 (管理人直通)</p>	